



みんなの党大会 アジェンダ 2013

2013.01.27

## 式 次 第

- ✧ 国歌斉唱
- ✧ 国會議員紹介
- ✧ 代表挨拶 渡辺喜美
- ✧ 来賓挨拶 古賀茂明様
- ✧ 2012年 情勢報告 山内康一
- ✧ 2013年 運動方針 江田憲司
- ✧ 基本政策説明 浅尾慶一郎
- ✧ 大会宣言 水野賢一
- ✧ 東京都議会議員選挙公認内定者紹介
- ✧ 究張ろうコール

## みんなの党 2013年運動方針

2013年1月27日

昨年末の総選挙では、自民党、公明党で法案の衆議院再可決が可能となる325議席を有する巨大与党が出現し、安倍晋三政権が誕生した。

この自公政権に対しては、みんなの党は、常に国家・国民の立場にたって、法案や政策ごとに是々非々で対応し、その数をたのんだ暴走にはしっかりと歯止めをかけていく所存である。

また、結党宣言にもあるとおり、さらなる「政界（政党）再編」を通じ、政治理念や基本政策を一致させた「眞の政党政治」を実現することで、この国の政治をスピード感をもって前に進めていかなければならない。それにより、我が国を覆う閉塞感を打破し、国民の手に政治を取り戻す。政治を一新（リセット）し、「増税より成長」「脱官僚・地域主権」「将来の原発ゼロ」で、この「国のかたち」を変えていくことが必要不可欠だ。

その意味で、今年は我が党にとって「天王山の戦い」を迎える。この夏の参議院議員選挙とその前哨戦たる東京都議会議員選挙だ。幸い、先の衆議院議員選挙では18議席／525万票をいただいた。これに加え、参議院の11議席、300議席以上の地方議員、これらの基盤を礎に、是非とも大きく飛躍し、国会でキャスティングポートを握ることで、我が党の「アジェンダ」（政策課題）を実現していく決意である。

このため、下記の方針に基づき、議員立法や政務調査、質疑等の議会活動はもとより、市井に出て全国で草の根運動を展開すること等により党の基盤を確立し、我が党に対する国民の理解と支援の輪を広げていくこととする。

### 記

1. 来るべき参議院議員選挙では、自民、公明両党での過半数を阻止することを目標とする。このため、参議院議員選挙の候補者擁立作業を加速する。党所属の国会議員、地方議員等は、有為な人材の発掘を精力的に進める。
2. 日本維新の会など他の政党・会派等との選挙協力は、政治理念や基本政策の一一致を前提とする。その上で、参議院議員選挙では、1. の目標を達成するため、1人区～3人区の選挙区を中心に候補者調整を進める。東京都議会議員選挙においても同様とする。

3. 議会では、法案や政策ごとに「クロス連合」、すなわち、考え方を同じくする政党・会派等と、組む相手を臨機応変に変えて連携し、みんなの党が訴えてきた「アジェンダ」（政策課題）を実現していく。選挙協力はその延長線上にある。
4. 「選挙制度改革」「一票の格差ゼロ」「大幅な定数削減」を三位一体で実現（全国集計の比例代表制の導入等）するため、政党間協議を精力的に進める。
5. 真の景気回復を実現し、経済を持続的な成長路線にのせていくことを最優先に、安倍政権の経済・金融政策を厳しくチェックするとともに、我が党の政策を積極的に提言していく。「増税の前にやるべきことがあるだろう！」という結党の原点に立って、消費税の増税は凍結し、~~廃議員~~議員や公務員が「我が身を切る改革」を断行する。

以上

## みんなの党アジェンダ2013

### 1. 経済実質成長路線への後押し

- ・形式だけの改革路線ではなく、実質を伴う改革  
→日銀法改正による金融緩和路線の明確化
- 徹底した規制改革による実質成長路線の定着化
- TPP交渉参加を含むFTA・EPAの推進による外需の取り込み
- 民間の自由な発想を経済成長につなげる自由競却
- 長期的な潜在成長力を引き上げる基礎科学の振興／人工光合成、iPS細胞

### 2. 徹底した行政改革の後押し

- ・形式だけの人事費削減の要請ではなく、具体策を  
→时限立法での国家公務員人件費の削減を基準財政需要に反映
- 制度としておかしい公務員人件費構造にメスを  
→国税庁と日本年金機構の統合で思い切った行革を

### 3. 政治制度の改革

- ・当たり前の政治制度の実現  
→全国集計の比例代用制に切り替えることで定数の大幅削減と一人一票制度の実現
- 国・地方での議員特権の廃止

### 4. 年金・医療等社会保障を持続可能で安心出来るものに

- ・世代間の不公平は世代内で解消  
→年金の積立方式への移行
- 健康保険の統合による、保険料率の不公平の解消

### 5. 世界中で安心出来る体制の構築

- ・我が国の領土・国民を徹底して守る態勢の構築  
→現実的な外交・安全保障政策の確立
- 海外で被害にあわれた方とそのご関係者にも犯罪被害者支援法の適用を

以上

## 大会宣言(案)

- 先の総選挙における政権交代は、民主党が国民との約束を守らず、政治不信を招いた結果である。また第三極が離合集散をくり返し、政策の一貫なき野合をしたことも不信を助長した。
- みんなの党は、「誰がやるか」、「誰と組むか」の前に「何をやるか」を徹底してつきつめる。「政策の一貫」を前提に政党間の協力は進めなければならない。みんなの党は、全ての政党と共通の政策を持っている唯一の政党である。今国会において、我が党は「ハブ政党」として政策ごと争点ごとに組む相手を選ぶ「クロス連合戦略」を積極的に推進していく。
- 明日から通常国会が開会し、本格的な論戦が始まる。みんなの党は、日銀法改正案、ネット選挙解禁法案、歳入庁設置法案、公務員制度改革法案をはじめ、できるだけ多くの法案を提出する予定である。政策の一貫する範囲で他の政党とも協力していく。その延長線上に参議院選挙でのすみ分け作戦が出てくる。
- 今年の夏には参議院選挙とその前哨戦としての都議会議員選挙が行われる。みんなの党としては都議会議員選挙は初めて、参議院選挙は2回目となる。それぞれ大幅な議席の上積みを図り、自民・公明の参議院における過半数超えを阻止する決意である。そして、みんなの党のレバレッジを効かせる体制を作り、アジェンダの実現に邁進する。
- 「増税・官僚統制・中央集権・原発続行」勢力に対し、「成長・脱官僚・地域主権・原発ゼロ」という分かりやすい構図で、選挙を戦っていく。
- 「ブレない・曲げない・崩れない」みんなの党は今年、更なる進化を成し遂げ、日本の経済成長を阻害するあらゆる既得権益と「闘う改革政党」として、その使命を果たしていく。

以上、宣言する。

平成25年1月27日  
みんなの党大会  
参加者代表 水野 賢一